

第 56 回建築士会全国大会しまね大会紹介

1) -1 出雲大社と大社造り

出雲大社を代表とする大社造りは出雲地方に特有で、他の地方にはほとんど見られません。大社造りの特徴は9本の掘立柱、妻入り、四周の縁、偏芯した階、さらには神様が奥で側面を向いていることなどでしょうか。出雲大社では基本的に本殿内部で祭祀を行っています。天井にはたなびく七つの雲が描いてあります。

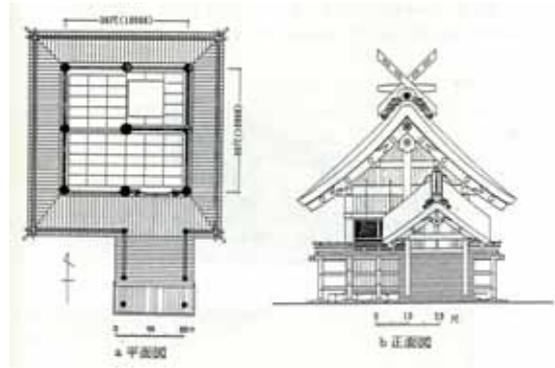
この形を基本形として、大社作りにも様々な類似系があります。階の位置が違う、神様の向きが違う、千木の切り方が違う、2棟が連続しているなどです。こ

こでは松江市内にある大社造りの社をいくつか紹介します。まず、国宝「神魂(かもす)神社」です。本殿は現在の出雲大社より古い建物

です。出雲大社と違い、屋根は柿葺きです。佐太神社は珍しい構成で大社造りの社殿が3棟並列して配置されています。正面と右側の社殿は右に階を持ち、左の

社殿は左に階を持ちます。奉納舞は佐太神能として有名

です。熊野大社は名前からも分かるように火に関係しています。美保神社は美保造りとも呼ばれ、大社造りからはかなり変形したものになりますが比翼大社造りという言い方もあります。二つの本殿が並び、その間には部屋があります。そして二つの本殿を連続した階屋根が設けられています。他に八重垣神社は、境内内の池に上を浮かべその上に五円玉を載せて、神が沈む速さによって結婚を占う女性に人気のスポットです。玉造りの湯神社は願石、叶い石が売りです。



出雲大社 平面図 立面図



湯神社 松江市玉造町



神魂神社 松江市大庭町



八重垣神社 松江市



美保神社 松江市美保関町



佐太神社 松江市浜佐田町



熊野大社 松江市八雲町